

令和 7 年度 水道実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード) 37-FE350-04-01-02

建設工事名 北方地内配水管（老朽管）布設替工事

路線河川名 建設工事箇所 藤枝市 北方 地内

建設工事金額

工 期 令和 8 年 2 月 1 3 日限り 週休 2 日推進工事補正 (月単位の週休 2 日 (合計))

建設工事概要	施工延長	415.6	m
	HPE径100	72.6	m
	HPE径75	261.2	m
	HPE径50	75.9	m
	仕切弁径100	2	基
	仕切弁径75	4	基
	仕切弁径50	1	基
	ドレン工	2	箇所

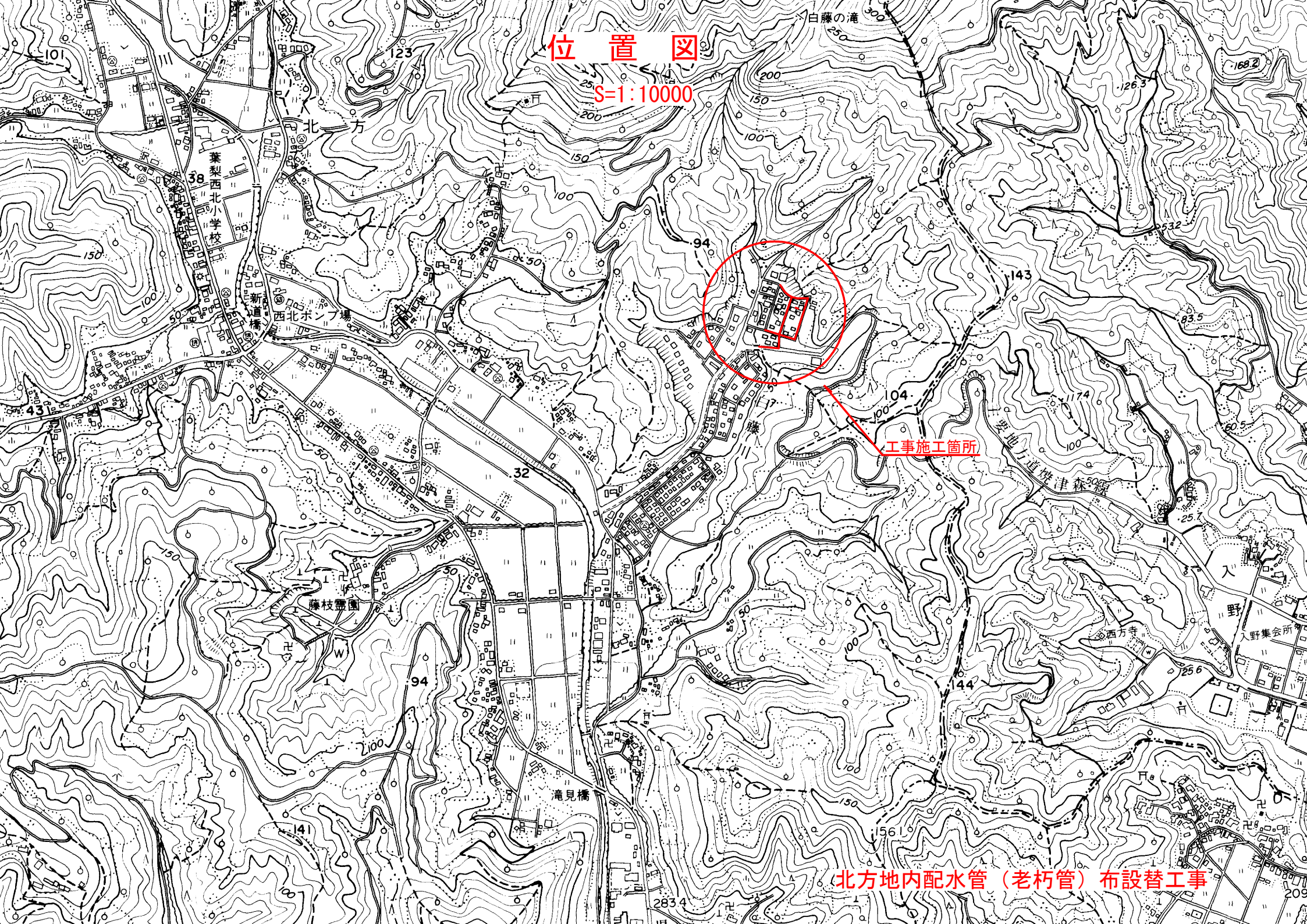
歩掛・単価適用年度 令和 7 年 5 月 基本単価 令和 7 年 5 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図

S=1:10000



工事施工箇所

北方地内配水管（老朽管）布設替工事

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 施工延長	m	415.6			コメント行 数量コードSEG
- HPE径100	m	72.6			コメント行 数量コードH10
- HPE径75	m	261.2			コメント行 数量コードH75
- HPE径50	m	75.9			コメント行 数量コードH05
- 仕切弁径100	基	2			コメント行 数量コードS1
- 仕切弁径75	基	4			コメント行 数量コードS75
- 仕切弁径50	基	1			コメント行 数量コードS50
- ドレン工	箇所	2			コメント行

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-- 業者購入管材					
	式	1			
--- HPE径100					
	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ100					
	本	11			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ100					
	本	3			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ100					
	個	3			
---- 配水P用 EFバンド(両受) φ100×90°					
	個	5			
---- 配水P用 EF異径チーズ(両受) φ100×φ 50					
	個	1			
---- 配水P用 EF異径チーズ(両受) φ100×φ 75					
	個	1			
---- 配水P用 EF片受レデューサ(片受片挿) φ100×φ 75					
	個	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 メカジョイント インナーコア含 φ100	個	1			
--- HPE径75	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ 75	本	44			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ 75	本	8			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ 75	個	12			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ 75×90°	個	3			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ 75×22° 1/2	個	1			
---- 配水P用 EF片受ベンド (片受片挿) φ 75×11° 1/4	個	3			
---- 配水P用 EFチーズ (両受) φ 75×φ 75	個	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EF異径チーズ (両受) φ 75×φ 50	個	1			
---- 配水P用 メカジョイント インナーコア含 φ 75	個	1			
--- HPE径50	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ 50	本	12			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ 50	本	4			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ 50	個	3			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ 50×90°	個	2			
---- 配水P用 メカキャップ インナーコア含 φ 50	個	1			
--- 仕切弁径100	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ100	基	2			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	2			
--- 仕切弁径75	式	1			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 75	基	4			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	4			
--- 仕切弁径50	式	1			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ 50	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	1			
--- ドレン工材料	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EFフランジ短管 (PE受口) KVパッキン・SUS BN 含 φ 50	個	1			
---- フランジサポート φ 50	個	1			
---- 穴あきフランジ φ 50×50	個	1			
---- HIバルブソケット (インサート付) φ 50	個	1			
---- HIELボ90° φ 50	個	2			
---- 仕切弁粉体FCD+F接合材2組 φ 50SS7.5kgf/cm ² JWWA B-120	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	2			
---- ポリエチレン1種2層管 PE φ 25 (軟質)	m	0.4			
---- HIユニオンシモク φ 25	個	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ガイドナット φ25	個	1			
---- PE管継手 おねじ(めねじ)付ソケット φ25	個	1			
---- PE管継手 エルボ90° φ25	個	1			
---- PE管継手 ユニオンベンド90° ポリ継手 φ25	個	1			
---- 乙型止水栓(ハンドル付ボール式) φ25	個	1			
---- 水道用HIビニール管 φ25×4m	本	1			
---- HIエルボ90° φ25	個	4			
--- 管表示・被覆材料	式	1			
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ100(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	74.3			M0001

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ75(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	264.3			M0002 第 2号表 数量コードW75
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ50(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	76.6			M0003 第 3号表 数量コードW50
---- 埋設標識シート設置工(材)	m	415.6			M0006 第 4号表 数量コードSEG
-- 管布設工	式	1			
--- HPE径100	式	1			
---- 管据付工 PE管(融着接合) φ100mm 人力	m	72.6			第 5号表 数量コードH10
---- 管継手工 PE管 融着接合(1口) φ100mm	口	12			第 6号表
---- 管継手工 PE管 融着接合(1箇所) φ100mm	箇所	10			第 7号表
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ100mm	口	2			第 8号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管切断工 PE管 φ100mm	口	8			第 9号表
--- HPE径75	式	1			
---- 管据付工 PE管（融着接合） φ75mm 人力	m	261.2			第 10号表 数量コードH75
---- 管継手工 PE管 融着接合（1口） φ75mm	口	44			第 11号表
---- 管継手工 PE管 融着接合（1箇所） φ75mm	箇所	21			第 12号表
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ75mm	口	2			第 13号表
---- 管切断工 PE管 φ75mm	口	13			第 14号表
--- HPE径50	式	1			
---- 管据付工 PE管（融着接合） φ50mm 人力	m	75.9			第 15号表 数量コードH05

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ 50mm	口	12			第 16号表
---- 管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ 50mm	箇所	5			第 17号表
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ 50mm	口	1			第 18号表
---- 管切断工 PE管 φ 50mm	口	4			第 19号表
--- 仕切弁設置工	式	1			
---- 仕切弁 (鋳鉄製) (縦型) 設置工 (機械力) φ 100mm以下	基	7			小運搬を含む 第 20号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	7			M0008 第 21号表
--- ドレン設置工	式	1			
---- 管据付工 PE管 (融着接合) φ 50mm 人力	m	0.4			第 15号表 数量コードDH5

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 PE管 融着接合(1口) φ50mm	口	1			第 16号表
---- フランジ継手(鋳鉄管:JWWA 7.5K、鋼管:F12)接合工 φ 65mm以下	口	2			第 25号表
---- 管据付工 VP管 φ50mm 人力	m	2.8			第 26号表 数量コードDV5
---- 管切断工 VP管 φ50mm	口	3			第 27号表
---- 管継手工 VP管TS継手 φ50mm	口	5			第 28号表
---- 管継手工 小口径管ねじ込み接合 φ50mm	口	1			第 29号表
---- 仕切弁(縦型)設置工(人力) φ 50mm	基	1			小運搬を含む 第 30号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	2			第 21号表 M0008
---- 止水栓取付工 PP用 φ25mm 接合2口、止水栓のみ	箇所	1			第 31号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管据付工 PE管 φ25mm 人力	m	0.4			第 32号表
---- 管継手工 PE管継手 φ25mm	口	4			第 33号表
---- 管継手工 小口径管ねじ込み接合 φ25mm	口	1			第 34号表
---- 管切断工 PE管 φ25mm	口	2			第 35号表
---- 管据付工 VP管 φ25mm 人力	m	4			第 36号表 数量コードHV
---- 管継手工 VP管TS継手 φ25mm	口	8			第 37号表
--- 管表示・被覆工	式	1			
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ100(工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	74.3			第 38号表 M0004 数量コードW10
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ75、50(工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	340.9			第 39号表 M0005 数量コードW12

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 埋設標識シート設置工(工)	m	415.6			M0007 第 40号表 数量コードSEG
-- 土工	式	1			
--- 掘削工	式	1			
---- 土砂掘削積込運搬(仮置き場まで)	m ³	230			M0025 第 41号表 数量コードMCZ
---- 管路埋戻工(再生砂)	m ³	82			M0013 第 44号表 数量コードRS1
---- 管路埋戻工(C-30) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) 路床材 各種	m ³	150			第 45号表 数量コードRC1
---- 発生土運搬・処理(10t積ダンプトラック) (有)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43-1	m ³	230			M0014 第 46号表 数量コードZD1
---- 舗装版切断	m	830			SP 2号表 数量コードKSE
---- アスファルトカッター汚泥運搬処理 マーセリサイクル(株)麻機工場 静岡市葵区北字柳沢2242-129	m ³	1			M0009 第 48号表 数量コードOS1

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 舗装版取壊し積込(バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)	m2	249			第 50号表 数量コードHH1
---- アスファルト殻運搬・処理(4t積ダンプトラック) セイエン商事(株) 藤枝市稲川891-2	m3	12			M0012 第 51号表 数量コードAG1
---- 仮舗装	m2	249			SP 3号表 数量コードKH1
-- 舗装工	式	1			
--- 舗装工	式	1			
---- 舗装版切断	m	420			SP 2号表 数量コードHSH
---- アスファルトカッター汚泥運搬処理 マーセリサイクル(株)麻機工場 静岡市葵区北字柳沢2242-129	m3	0.5			M0009 第 48号表 数量コードOS2
---- 舗装版取壊し積込(バックホウ) 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)	m2	687			第 50号表 数量コードHH2
---- アスファルト殻運搬・処理(4t積ダンプトラック) セイエン商事(株) 藤枝市稲川891-2	m3	34			M0012 第 51号表 数量コードAG2

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- バックホウ掘削積込(土砂) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ³	80			第 42号表 数量コードMcZ
---- 発生土運搬・処理(10t積ダンプトラック) (有)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43-1	m ³	80			M0014 第 46号表 数量コードMcZ
---- 上層路盤工(市車道) 仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整碎石(M-30)	m ²	508			第 53号表 数量コードJR
---- 不陸整正工 施工幅=1.8m未満 補足材:有り 平均厚さ30mm	m ²	179			第 54号表 数量コードHSE
---- 表層(市道N4タイプ)	m ²	620			SP 4号表 数量コードHN4
---- 表層(市道N5タイプ)	m ²	67			SP 5号表 数量コードHN5
---- 基層(市道N5タイプ)	m ²	67			SP 6号表 数量コードHN5
-- 仮設工	式	1			
--- 交通管理工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 交通誘導警備員	式	1			M0015 第 55号表
直接工事費計					
工種区分 No. 63 開削工事及び小口径推進工事等					
共通仮設費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
技術管理費	式	1			M0016 第 57号表
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
工事原価計					

±I				数量計算表									測点間距離		40 m	
測点 中間点 距離(m) コ メ ン ト				MC1 機械掘削			RC1 埋戻し (C-30)			RS1 埋戻し (再生砂)						
				数 量	平均値	立積 (08)	数 量	平均値	立積 (08)	数 量	平均値	立積 (08)				
0	+0.00	0.00	[1]	0.59			0.37			0.21						
0	+3.70	3.70	[1]	0.59	0.590	2.180	0.37	0.370	1.370	0.21	0.210	0.780				
0	+3.70	0.00		0.00	0.300		0.00	0.190		0.00	0.110					
0	+4.49	0.79		0.00			0.00			0.00						
0	+4.49	0.00	[1]	0.59	0.300		0.37	0.190		0.21	0.110					
1	+35.35	70.86	[1]	0.59	0.590	41.810	0.37	0.370	26.220	0.21	0.210	14.880				
1	+35.35	0.00	[2]	0.56	0.580		0.37	0.370		0.20	0.210					
2	+35.56	40.21	[2]	0.56	0.560	22.520	0.37	0.370	14.880	0.20	0.200	8.040				
2	+35.56	0.00		0.00	0.280		0.00	0.190		0.00	0.100					
2	+36.27	0.71		0.00			0.00			0.00						
2	+36.27	0.00	[2]	0.56	0.280		0.37	0.190		0.20	0.100					
6	+10.07	133.80	[2]	0.56	0.560	74.930	0.37	0.370	49.510	0.20	0.200	26.760				
10	+0.00	0.00	[3] N4	0.55	0.560		0.37	0.370		0.18	0.190					
10	+32.00	32.00	[3] N4	0.55	0.550	17.600	0.37	0.370	11.840	0.18	0.180	5.760				
10	+32.00	0.00	[3] N5	0.52	0.540		0.37	0.370		0.18	0.180					
11	+36.66	44.66	[3] N5	0.52	0.520	23.220	0.37	0.370	16.520	0.18	0.180	8.040				
20	+0.00	0.00	[2]	0.56	0.540		0.37	0.370		0.20	0.190					
22	+1.64	81.64	[2]	0.56	0.560	45.720	0.37	0.370	30.210	0.20	0.200	16.330				
22	+1.64	0.00		0.00	0.280		0.00	0.190		0.00	0.100					
22	+2.35	0.71		0.00			0.00			0.00						

±I

測点間距離40 m

数量計算表

測点 中間点 距離(m) コメント				MC1 機械掘削			RC1 埋戻し (C-30)			RS1 埋戻し (再生砂)		
				数 量	平均値	立積 (08)	数 量	平均値	立積 (08)	数 量	平均値	立積 (08)
22	+2.35	0.00	[2]	0.56	0.280		0.37	0.190		0.20	0.100	
22	+11.05	8.70	[2]	0.56	0.560	4.870	0.37	0.370	3.220	0.20	0.200	1.740
合	計	417.78			(MC1)	232.850		(RC1)	153.770		(RS1)	82.330

±工				数量計算表			測点間距離 40 m	
測点 中間点 距離(m) コメント				KH1 仮舗装1				
				数 量	平均値	面積 (1 1)		
0	+0.00	0.00	[1]	0.60				
0	+3.70	3.70	[1]	0.60	0.600	2.220		
0	+3.70	0.00		0.00	0.300			
0	+4.49	0.79		0.00				
0	+4.49	0.00	[1]	0.60	0.300			
1	+35.35	70.86	[1]	0.60	0.600	42.520		
1	+35.35	0.00	[2]	0.60	0.600			
2	+35.56	40.21	[2]	0.60	0.600	24.130		
2	+35.56	0.00		0.00	0.300			
2	+36.27	0.71		0.00				
2	+36.27	0.00	[2]	0.60	0.300			
6	+10.07	133.80	[2]	0.60	0.600	80.280		
10	+0.00	0.00	[3] N4	0.60	0.600			
10	+32.00	32.00	[3] N4	0.60	0.600	19.200		
10	+32.00	0.00	[3] N5	0.60	0.600			
11	+36.66	44.66	[3] N5	0.60	0.600	26.800		
20	+0.00	0.00	[2]	0.60	0.600			
22	+1.64	81.64	[2]	0.60	0.600	48.980		
22	+1.64	0.00		0.00	0.300			
22	+2.35	0.71		0.00				

延長計算表

数量計算名称	コード	起 点 測 点 中間点	終 点 測 点 中間点	数 量(m)
舗装版切断 (市道部) 測点間距離 40 m	KS1 (08)	0 +0.00	0 +3.70	3.70
		0 +4.49	2 +35.56	111.07
		2 +36.27	6 +10.07	133.80
		10 +0.00	11 +36.66	76.66
		20 +0.00	22 +1.64	81.64
		22 +2.35	22 +11.35	9.00
				415.87
合 計				

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
施工延長	S E G (0 3)	= 415.6 = 415.600	
N4施工延長	N 4 (0 3)	= 250.07 + 32 + 91.05 = 373.120	
N5施工延長	N 5 (0 3)	= 44.66 = 44.660	

配管工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
H P径1 0 0	H 1 0 (0 3)	=	72. 6
		=	72. 600
		
H P径7 5	H 7 5 (0 3)	=	261. 2
		=	261. 200
		
H P径5 0	H 0 5 (0 3)	=	75. 9
		=	75. 900

通水試験工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
通水試験	T S S (0 3)	= H10 + H75 + H05 + (0.86 * 2) + (0.78 * 4) + (0.68 * 1)			
		= 72.6 + 261.2 + 75.9 + (0.86 * 2) + (0.78 * 4) + (0.68 * 1)			
		= 415.220			

土工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
機械掘削	MCZ (08)	= MC1 = 232.85 = 232.850		
埋戻し（再生砂）	RSZ (08)	= RS1 = 82.33 = 82.330		
埋戻し（購入土）	RDZ (08)	= RC1 = 153.77 = 153.770		
舗装版切断	KSE (08)	= KS1 * 2 = 415.87 * 2 = 831.740		
カッター汚泥処分1	OS1 (03)	= KS1 * 0.05 * 0.023 * 2 = 415.87 * 0.05 * 0.023 * 2 = 0.960		

土工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
舗装版破碎 1	H H 1 (1 1)	=	KH1
		=	249.35
		=	249.000
		
アスファルト殻処分 1	A G 1 (0 2)	=	SEG * 0.6 * 0.05
		=	415.6 * 0.6 * 0.05
		=	12.470
		
仮舗装	K H Z (1 1)	=	KH1
		=	249.35
		=	249.350
		
土工残土	Z D 1 (0 8)	=	MC1
		=	232.85
		=	232.850

舗装工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
掘削（舗装時）	M c Z （ 1 1 ）	$= (N4 * 0.16 * 0.6) + (N4 * 0.15 * 0.6) + (N5 * 0.21 * 0.6) + (N5 * 0.15 * 0.8)$ $= (373.12 * 0.16 * 0.6) + (373.12 * 0.15 * 0.6) + (44.66 * 0.21 * 0.6) + (44.66 * 0.15 * 0.8)$ $= 80.390$		
舗装版破碎（舗装時）	H H 2 （ 1 1 ）	$= (1.5 * 73.57) + (1.6 * 100.8) + (1.8 * 75.7) + (1.5 * 32) + (1.5 * 44.66) + (1.8$ $* 91.05)$ $= 686.780$		
舗装版切断（舗装時）	H S H （ 0 8 ）	$= \text{SEG}$ $= 415.6$ $= 415.600$		
カッター汚泥（舗装）	O S 2 （ 0 3 ）	$= \text{HSH} * 0.05 * 0.023$ $= 415.6 * 0.05 * 0.023$ $= 0.480$		
表層（車道・路肩部）	H O （ 1 1 ）	$= (1.5 * 73.57) + (1.6 * 100.8) + (1.8 * 75.7) + (1.5 * 32) + (1.5 * 44.66) + (1.8$ $* 91.05)$ $= 686.780$		

舗装工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
上層路盤工	J R (1 1)	$= (1.2 * (\text{SEG} - 44.66)) + (1.4 * 44.66)$ $= (1.2 * (415.6 - 44.66)) + (1.4 * 44.66)$ $= 507.650$		
不陸整正	H S E (1 1)	$= H0 - JR$ $= 686.78 - 507.65$ $= 179.130$		
N4本舗装	H N 4 (1 1)	$= (1.5 * 73.57) + (1.6 * 100.8) + (1.8 * 75.7) + (1.5 * 32) + (1.8 * 91.05)$ $= 619.790$		
N5本舗装	H N 5 (1 1)	$= (1.5 * 44.66)$ $= 66.990$		
アス殻（舗装時）	A G 2 (0 2)	$= (\text{SEG} * 0.6 * 0.04) + ((\text{HN5} - (\text{N5} * 0.6)) * 0.1) + ((\text{HN4} - (\text{N4} * 0.6)) * 0.05)$ $= (415.6 * 0.6 * 0.04) + ((66.99 - (44.66 * 0.6)) * 0.1) + ((619.79 - (373.12 * 0.6)) * 0.05)$ $= 33.790$		

仕切弁			数 量 調 整 表			数量調整表優先		
名 称		コード		計 算 式				
仕切弁 φ100		S 1 (0 6)		= 2				
				= 2.000				
							
仕切弁 φ75		S 7 5 (0 6)		= 4				
				= 4.000				
							
仕切弁 φ50		S 5 0 (0 6)		= 1				
				= 1.000				

ナイロンスリーブロケーティングワイヤー

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
ナイロンスリーブ100	W10 (03)	$\begin{aligned} &= H10 + (0.86 * S1) \\ &= 72.6 + (0.86 * 2) \\ &= 74.320 \\ &----- \end{aligned}$
ナイロンスリーブ75	W75 (03)	$\begin{aligned} &= H75 + (0.78 * S75) \\ &= 261.2 + (0.78 * 4) \\ &= 264.320 \\ &----- \end{aligned}$
ナイロンスリーブ50	W50 (03)	$\begin{aligned} &= H05 + (0.68 * S50) \\ &= 75.9 + (0.68 * 1) \\ &= 76.580 \\ &----- \end{aligned}$
ナイロンスリーブ7550	W12 (03)	$\begin{aligned} &= W75 + W50 \\ &= 264.32 + 76.58 \\ &= 340.900 \end{aligned}$

ドレンエ数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
ドレンHP径50	D H 5 (0 3)	= 0.4	
		= 0.400	
		
ドレンHIVP径50	D V 5 (0 3)	= 2.8	
		= 2.800	
		
ドレンPEP径25	D P E (0 6)	= 0.4	
		= 0.400	
		
ドレンHIVP径25	D H V (0 6)	= 4.0	
		= 4.000	

MOOO1 <div> ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ100(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用 </div> 第 1号表					
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配水P用 ナイロンスリーブ φ100	枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.22			
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	5.9			
ロケーティングワイヤー 100m	m	110			
計					
単価	m				

MOOO2 <div> ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ75(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用 </div> 第 2号表					
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配水P用 ナイロンスリーブ φ 75	枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.02			
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	4.8			
ロケーティングワイヤー 100m	m	110			
計					
単価	m				

MO003 <div> ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ50(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用 </div> 第 3号表					
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配水P用 ナイロンスリーブ φ 50	枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.02			
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	3.8			
ロケーティングワイヤー 100m	m	110			
計					
単価	m				

M O O O 6 埋設標識シート設置工(材) 第 4号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート (ダブル) 幅 15cm 50m/巻	m	100			
計					
単価	m				

管据付工 PE管（融着接合） φ100mm 人力						第 5号表	
金 円	10 m 当り	積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		配管工	人				
		普通作業員	人				
		計					
		単価	m				

管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ100mm						第 6号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
配管工					1	
	人					
普通作業員					1	
	人					
諸雑費						
	%					
計						

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ100mm						第 7号表	
金 円 1 箇所 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
配管工						1	
		人					
普通作業員						1	
		人					
諸雑費							
		%					
計							

管継手工 PE管 メカニカル継手 φ100mm						第 8号表
金 円		1 口当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管切断工 PE管 φ100mm

第 9号表

管切断工 PE管 φ100mm						第 9号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

1, #等:諸経費等対象額

管据付工 PE管 (融着接合) φ75mm
人力

第 10号表

金 円 10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
配管工		人			
普通作業員		人			
計					
単価		m			

管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ75mm						第 11号表
金 円		1 口当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ75mm						第 12号表
金 円		1 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 PE管 メカニカル継手 φ75mm						第 13号表
金 円		1 口当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管切断工 PE管 φ75mm					
第 14号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管据付工 PE管（融着接合） φ50mm 人力						第 15号表
金 円		10 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
計						
単価		m				

管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ50mm						第 16号表	
金 円 1 口当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
配管工						1	
		人					
普通作業員						1	
		人					
諸雑費							
		%					
計							

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ50mm						第 17号表
金 円 1 箇所 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 PE管 メカニカル継手
φ50mm

第 18号表

金 円 1 口当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
配管工					
		人			
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		%			
計					

1, #等: 諸経費等対象額

管切断工 PE管 φ50mm					
第 19号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

仕切弁（鋳鉄製）（縦型）設置工（機械力） φ 100mm以下						第 20号表
金	円	1 基 当り	小運搬を含む			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
トラック運転 4 - 4.5 t積 2.9 t吊 [クレーン装置付]		時間				
諸雑費		式	1			
計						

M O O O 8					
仕切弁篋設置工					
第 21号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
仕切弁篋鉄蓋設置工 円形250、重量30 k g 未満規格相当		個	1		
仕切弁ボックス設置工 円形250×150、重量30 k g 未満規格相当		個	1		
仕切弁篋床版設置工 円形250×150、重量30 k g 未満規格相当		個	1		
計					

T O O O 1					
仕切弁筐鉄蓋設置工 円形250、重量30 k g 未満規格相当					
第 22号表					
金 円 1 個 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		%			
計					

T O O O 2					
仕切弁ボックス設置工 円形250×150、重量30 k g 未満規格相当					
第 23号表					
金 円 1 個 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		%			
計					

T O O O 3					
仕切弁筐床版設置工 円形250×150、重量30 k g 未満規格相当					
第 24号表					
金 円 1 個 当 り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員					
		人			
諸雑費					
		%			
計					

フランジ継手 (鋳鉄管: JWWA 7. 5K、銅管: F12) 接合工 φ 65mm以下						第 25号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管据付工 VP管 φ50mm 人力						第 26号表
金 円		10 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
計						
単価		m				

管切断工 VP管 φ50mm					
第 27号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管継手工 VP管TS継手 φ50mm						第 28号表
金 円 2 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						
単価						
		口				

管継手工 小口径管ねじ込み接合 φ 5 0 mm						第 2 9号表
金 円		2 口 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						
単価						
		口				

仕切弁（縦型）設置工（人力） φ 50mm						第 30号表
金	円	1 基 当り	小運搬を含む			
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸 雑 費						
		式	1			
計						

止水栓取付工　PP用　φ25mm 接合2口、止水栓のみ						第　31号表	
金	円	1　箇所　当り					
積　算　項　目			単位	数量	単　価	金　額	摘　要
配管工							1
			人				
普通作業員							1
			人				
諸雑費							
			%				
計							

管据付工 PE管 φ25mm 人力						第 32号表	
金	円	10 m 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工			人				
普通作業員			人				
計							
単価			m				

管継手工 PE管継手 φ25mm						第 33号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						

管継手工 小口径管ねじ込み接合 φ25mm					
第 34号表					
金 円 2 口 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	口				

管切断工 PE管 φ25mm					
第 35号表					
金	円	1 口当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
配管工					1
普通作業員					1
諸雑費					
計					

管据付工 VP管 φ25mm 人力						第 36号表	
金	円	10 m 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工			人				
普通作業員			人				
計							
単価			m				

管継手工 VP管TS継手 φ 25mm						第 37号表
金 円		2 口当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						1
		人				
普通作業員						1
		人				
諸雑費						
		%				
計						
単価						
		口				

MO004		ナイロンスリーブ被覆工及びロケティングワイヤー設置工 φ100(工) 油類及び有機溶剤浸透防止用				第 38号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						
		人				
普通作業員						
		人				
諸雑費						
		%				
計						
単価						
		m				

MO005		ナイロンスリーブ被覆工及びロケーティングワイヤー設置工 φ75、50(工) 油類及び有機溶剤浸透防止用				第 39号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工						
		人				
普通作業員						
		人				
諸雑費						
		%				
計						
単価						
		m				

M O O O 7					
埋設標識シート設置工(工)					
第 40号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
諸雑費	%				
計					
単価	m				

MOO25		土砂掘削積込運搬（仮置き場まで）				第 41号表	
金 円		1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3）		m3	1			第 42号表	
ダンプトラック運搬・4t積（管路掘削工事） バックホウ 山積0.28m3（平積0.20m3） DID区間無し，L=2km，土砂		m3	1			第 43号表	
計							

バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 42号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間無し, L=2km, 土砂					
第 43号表					
金	円	10 m ³ 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費: 良好				日	
計					
単価				m ³	

MOO13

管路埋戻工(再生砂)

第 44号表

金 円		1 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工 機械施工(10m3以上)		m3	1			
再生砂 (埋戻し用)		m3	1.26			
計						

管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 各種					
第 45号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
クラッシャーラン C-30 30-0mm	m ³	126			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

MOO14					
発生土運搬・処理(10t積ダンプトラック) (有)鈴木土建 牧之原市笠名字大谷43-1					
第 46号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
積込 (ルーズ)	m3	1.2			SP 1号表
ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.8m3 (平積0.6m3) DID区間有り, L=42km, 土砂	m3	1			第 47号表
残土処分費(普通土)	m3	1.2			
計					

ダンプトラック運搬・10t積(管路掘削工事) バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) DID区間有り, L=4.2km, 土砂					
第 47号表					
金	円	100 m3 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
ダンプトラック運搬 10t積級 タイヤ損耗費:良好				日	
計					
単価				m3	

M O O O 9					
アスファルトカッター汚泥運搬処理 マーセリサイクル(株)麻機工場 静岡市葵区北字柳沢2242-129					
第 48号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アスファルトカッター汚泥運搬 L=60Km圏内	m3	1			M0010
アスファルトカッター汚泥処分費	m3	1			第 49号表
計					

<div> <div>MOO10</div> <div> <div>アスファルトカッター汚泥運搬</div> <div>L=60km圏内</div> </div> <div>第 49号表</div> </div>					
<div> <div>金</div> <div>円</div> <div>15 m3 当り</div> </div>					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
汚泥吸排車〔トラック架装型〕 積載質量3.1-3.5t 吸入管径φ75mm	時、日				1 換算供用日（損料表15欄）
運転手（一般）	人				1
軽油 バトロール給油	L	35.8			1
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2-3t 良好	供用日				1
諸雑費	%				
計					
単価	m3				

舗装版取壊し積込（バックホウ） 0cmを超え10cm以下 バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 50号表					
金 円 100 m ² 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ²				

MOO12					
アスファルト殻運搬・処理(4t積ダンプトラック)					
セイエン商事(株) 藤枝市稲川891-2					
第 51号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) DID区間有り, L=7.6km, As塊	m3	1			第 52号表
アスファルト殻処分費	m3	1			
計					

ダンプトラック運搬・4 t 積 (管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) DID区間有り, L=7.6km, As塊 金 円 10 m ³ 当り						第 52号表
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費:良好	日					
計						
単価	m ³					

上層路盤工 仕上り厚さ=15cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整砕石 (M-30)					
第 53号表					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
粒調砕石 M-30 30-0mm	m3	19.05			
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

不陸整正工 施工幅=1.8m未満 補足材:有り 平均厚さ30mm 第 54号表					
金	円	100 m2 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
粒調碎石 M-30 30-0mm	m3	3.81			
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m2				

MOO15

交通誘導警備員

第 55号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員		式	1			第 56号表
計						
</						

交通誘導警備員

第 56号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	92			46日、2人
計						

MOO16					
技術管理費					
第 57号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験	件	1			
通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり	m	415.2			第 58号表 数量コードTSS
計					

通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり					
第 58号表					
金 円 500 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
器具損料及び諸雑費					
	%				
計					
単価					
	m				

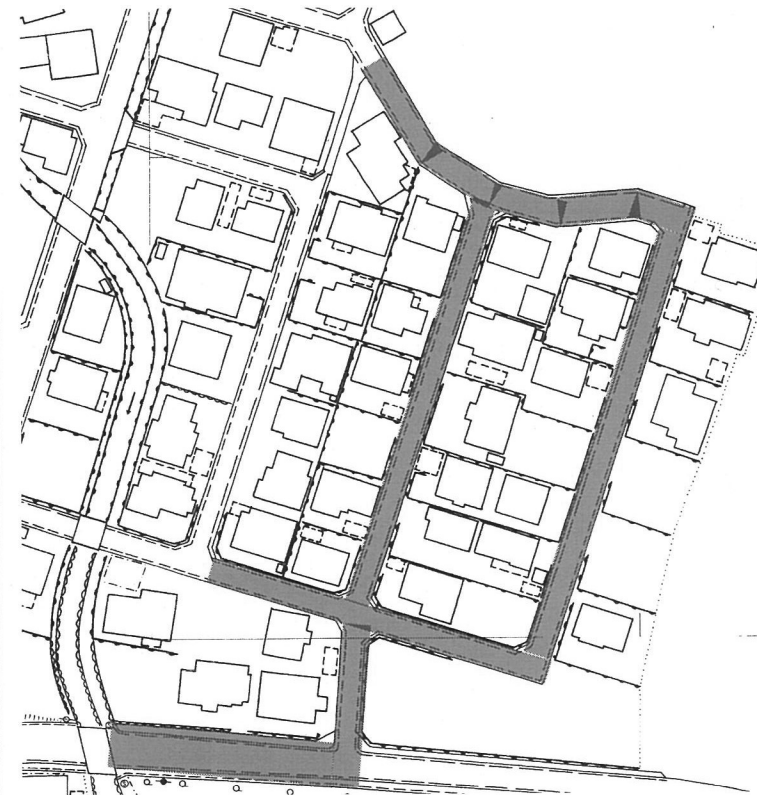
施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
横込 (ルーズ)	土質＝土砂，作業内容＝土量 5 0，0 0 0 m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 1 号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝1 5 c m 以下	SP 2 号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1．4 m 未満（1 層当り平均仕上り厚 5 0 m m 以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し & アスコン規格＝再生密粒度アスコン（1 3） A 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝4 0 m m	SP 3 号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1．4 m 以上 3．0 m 以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 & アスコン規格＝再生密粒度アスコン（1 3） A 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝5 0 m m，& 瀝青材料規格＝プライムコート P K - 3	SP 4 号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1．4 m 以上 3．0 m 以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝タックコート 選択 & アスコン規格＝密粒度アスコン（2 0） 改質 I 型 B 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝5 0 m m，& 瀝青材料規格＝タックコート 高性能改質アスファルト乳剤	SP 5 号表
基層 (車道・路肩部)	平均幅員＝1．4 m 以上 3．0 m 以下，材料＝粗粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 & アスコン規格＝再生粗粒度アスコン（2 0） B 配合，＊1 層当り平均仕上り厚＝5 0 m m，& 瀝青材料規格＝プライムコート P K - 3	SP 6 号表

地下埋設物調書

(北方地内配水管(老朽管)布設替工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	VPφ75	VPφ75 Pφ50 HVPφ50	給水管あり		上水道課 久保田
ガス管	PEPφ50	PEPφ50	引込管あり		東海ガス web受付
大井川広域水道企団	施設管理図によりないことを確認した				
大井川土地改良区	施設管理図によりないことを確認した				
N T T ケーブル	地下埋設物照会によりないことを確認した				NDS web受付
中部電力 ケーブル	地下埋設物照会によりないことを確認した				中部電力 web受付
下水道管	地下埋設物照会によりあることを確認した				下水道課 遠藤



藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
(3) 地域の事情 () 日
(4) 自然条件 () 日
(5) その他 () 日

交通誘導警備員の配置に関する特記仕様書

(交通誘導警備員の設計計上数量)

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導警備員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

(安全対策)

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導警備員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

(その他)

第3条 交通誘導警備員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導警備員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導警備員の点呼を取り、交通誘導警備員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導警備員を適正に配置するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。